

真正表明

「J-POWERグループ統合報告書2023」の発行にあたって



代表取締役社長 社長執行役員
菅野 等

当社は、中長期的な価値創造に向けた当社の取り組みについてのご理解を深めていただくため、2019年より統合報告書を発行し、ステークホルダーの皆様との対話を重ねてまいりました。

発行から5年目となる本年度の統合報告書では、エネルギー安定供給と気候変動対応の両立を通じて社会全体のサステナビリティ推進を図るといふ、当社のミッションについてあらためてお示ししています。また、カーボンニュートラルへの転換と成長を両立させる当社の競争力やビジネスモデルについて紹介しています。

昨年からの進捗としては、マテリアリティ目標(KPI)やJ-POWER“BLUE MISSION 2050”に基づくアクションの取り組み状況をアップデートしました。TCFD提言に沿った気候変動シナリオ分析については、ステークホルダーの皆様との対話を通じていただいた意見を基に社内で議論を重ね、さらなる開示内容の充実を図っています。

加えて、人財戦略やDX戦略、コーポレートガバナンスの強化の状況など、当社グループの事業基盤を支え成長を後押しする取り組みについても紹介しています。

本報告書は、経営企画部が編集の中心となって関係部署と協力し制作したものです。私はESG総括の責任者として、その制作プロセスが正当であり、かつ記載内容が正確であることを表明します。

本報告書が、ステークホルダーの皆様にも、当社グループをより一層ご理解いただくための一助となれば幸いです。これからも本報告書の内容のさらなる充実にも努め、ステークホルダーの皆様との対話に役立ててまいります。